

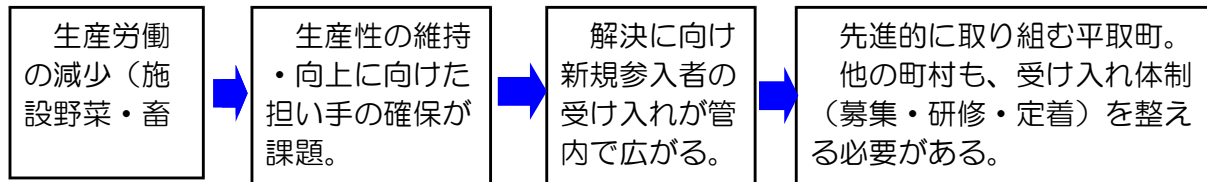
# 新規参入者の受け入れ体制充実で、日高に活気を！

～ 広域的な新規参入者の育成・定着を目指して ～

◆活動年次：平成24年度～平成25年度

◆対象：日高管内新規就農者（5年以内）、新規参入者

## 1 課題の背景



## 2 活動の経過

各7町の活動内容を確認し、情報の共有化を進め、管内全域の受け入れ体制（募集・研修・定着）のステップアップを図った。

**5月**：日高振興局と協同で推進するにあたり、「日高管内担い手育成・確保に関する申し合わせ事項」を作成・提示した。

年間作業スケジュールを作成し、業務の役割分担と効率的、効果的な活動を展開した。

### 募集と定着のために

○ 管内関係機関の意向把握（各7町、7JAを振興局と巡回）

**5月**：各町の課題確認。改善策の検討・事例提示

**8月**：改善策の進捗状況確認、協議。

**10月**：平成26年度の各町の取り組みの確認。

「第1回情報・意見交換会」で行ったワークショップから見えた管内の課題報告と協議。

○ 「情報・意見交換会」の実施（2回）

**9月**：受け入れ体制について、現状の取り組みとあるべき姿のワークショップを実施。

＜対象：各町課長、JA営農部長＞

**11月**：普及センターより各町の「受け入れ体制」の現状と課題解決の進捗状況報告。

各町・JAより平成26年度の取り組み報告。

道担い手センター等からの情報提供。

＜対象：管内指導農業士、各町課長、JA営農部長、各農業委員会会長＞



写真1 情報・意見交換会

### 研修のために

**8月**：日高管内の新規就農者・参入者向けに、体系的な教育カリキュラムの作成。  
先駆的に行う新冠町の事例を活用した。

**11月**：「情報・意見交換会」において、「担い手を地域全体で育成する取り組みカリキュラム（例）」を各町・JA等に提示。

**2月**：管内共通で活用する指導資料整理・完成。

普及センター本所・支所の研修会用既存データを収集して、一本化した。

### 3 活動の成果

管内7町相互の取り組みの進展がみられた。

定着に向けて、地域で育成する研修カリキュラムを提示し指導内容の平準化が一步前進。

表1 新規参入者受け入れ体制の強化・充実

項目	町名	H24	H25
就農相談(募集)	A	○	○
	B	○	○
	C	△	○
	D	△	△
	E		
	F		
	G	○	○
研修受け入れ体制	A	○	○
	B	△	○
	C	○	○
	D	△	○
	E		
	F		
	G	○	○
農地等の対策	A	○	○
	B	△	○
	C	△	△
	D	△	△
	E		
	F		
	G	○	○

△: 取り組んでいるが不十分 ○: 出来ている 空欄: 未実施

表2 農業研修生の受け入れ状況

町名	H24	H25
新冠町	2(4)	2(4)
新ひだか町	2(3)	3(5)
浦河町	1(1)	1(1)
様似町	2(2)	3(3)
えりも町		
日高町		
平取町	2(4)	2(4)
合計	9(14)	11(17)

\*戸( )内は人数。

表3 新規参入者の就農状況

町名	H24	H25
新冠町		
新ひだか町	1	
浦河町	2	1
様似町		1
えりも町		
日高町		1
平取町	1	2
合計	4	5

#### (1) 受け入れ体制がステップアップ

##### ○各町の課題の共有化と改善策協議

各町・JAの巡回・協議と、ワークショップを行い、課題とあるべき姿に関する生の声を拾い、整理したことで、今後自らが各地域でやるべきことのヒントとなった。

昨年からみたら、各町の受け入れ体制は格段の進歩ですね！  
(先導的農業者)

今年の「新農業人フェア」での、日高ブースは活気がありましたね。(就農コーディネーター)



##### ○体制整備(募集・研修)に一步前進

各町での取り組みに影響力のある町課長、JA部長級に各種アプローチをしたことにより、速やかな取り組みに結びついた。

新規参入者の受け入れ体制(募集、研修)充実強化に向けて進展が見られる(表1)。

関係者からは、図のような評価の声が聞けた。

#### (2) 定着に向けて研修講座の充実

日高管内新規就農者研修カリキュラム(例)

講座	主な内容	講師
農業概論・地域農業・町政	新規参入の心構え、農業生産の歴史、今後の方向、町からのお知らせ	町
農業機械安全・農協運営	機械作業の留意点、農協事業の概要、農業の種類と取り扱い、畑作・水稲概論、クミカン・営農計画・資金	JA・ホクレン
農業共済制度	農業共済制度の概要	農済
生産・経営技術	北海道の農業、土壌分析と施肥、病害虫と防除、経営計画(演習)・分析、診断、水稲・畜産・各種園芸・畑作技術	普及センター
機械	農業機械高度利用研修・新規参入者研修	農大
総合	食品加工技術、先輩農業者の講話、地域担い手交流会、青年農業者の学習・プロジェクト・仲間づくり	指導農業士・他

##### ○関係機関へ体系的教育カリキュラムの提示

「担い手を地域全体で育成する取り組み」に対して、地域に貢献する指導農業士をはじめ各町・JAが、その必要性の理解を得た。

##### ○管内共通で活動する指導資料の一本化

「日高管内新規就農者向け資料」として一本化した。このことで、オール日高の指導の平準化と効率化を図る基礎が完成した。

### 4 今後の課題

#### (1) 新規参入者受け入れに係わる課題解決の支援

- 各町の担い手受け入れ体制(特に定着)の進捗状況を把握し、充実にむけて提案する。
- 地域で活躍する先進的農業者との連携を深める。
- 経営継承事業に関する事例情報(ノウハウ)を、必要に応じて提供する。

#### (2) 講座への支援

- 既存後継者も含め、生産・経営技術習得環境の充実を、各地域関係機関・団体と連携して進める。